

## (仮称)歴史と未来の交流館建設事業

【平成29年度予算額 75,338千円】

教育委員会 生涯学習課  
(仮称)歴史と未来の交流館整備推進室

村では、本施設の平成31年度末の開館を目指し、施設整備・活動の基本方針として、平成28年5月に「基本計画」、同年12月に「実施計画」を策定しております。

### 【施設整備の基本方針】

〔郷土への誇りや愛着心を育む生涯学習の拠点施設〕

- 東海村の歴史や文化財を将来へ伝承する
- 歴史や自然、文化を楽しみながら学習・体験し、未来を拓く力を育む
- 遊びや体験を通して、子どもたちの豊かな感性や自立心を育む

〔ひとづくり・まちづくりの活力と賑わいにあふれる施設〕

- 地域の歴史や文化、自然を守る人たちの活躍
- 青少年育成に関わる人たちの活躍
- 子どもたちを含むあらゆる世代の体験活動、郷土学習による交流
- 〔あらゆる世代が気軽に訪れ、自由に過ごし楽しむことができる施設〕
- 敷地の自然を活かした自由な遊び場
- 日常の憩いの場となる空間
- 幅広い世代が集い・交流できる空間

### 【平成29年度の事業概要】

▼実施設計・・・基本設計図書に基づき、工事施工を考慮した上で、デザインと技術面の両面にわたって詳細な設計を進めます。また、工事施工に向けて、工事費の具体的な積算を行います。

▼管理運営計画・・・建設工事設計に必要な事項や開館後を見据えた事業・活動計画、展示・収蔵計画の策定、管理・運営体制の構築、設置管理条例の制定に向けた検討などを行います。

### 【全体の整備概要】

▼施設規模・・・計画規模は2,480㎡、整備費用は約12億円を見込んでいますが、施設整備に当たっては、コンパクトで機能的な配置と兼用空間を設けるなど、効率的な空間利用を検討し、建設規模や建設費等のコスト抑制に努めます。

- ◆平成28～29年度:建設工事基本・実施設計
- ◆平成30～31年度:建設工事・展示制作
- ◆平成31年度末:開館予定

### 【施設構成・活動内容】

▼施設機能・・・郷土の歴史・文化を保存・調査・活用・継承するための「歴史博物館ゾーン」、未来を担う子どもたちの健やかな成長を支援する「子ども未来館ゾーン」、様々な世代の交流や情報発信を促す「交流共有ゾーン」により構成します。

○村内の自然(動植物・地理)や産業、歴史など幅広い「文化」を素材にして、体験、交流し、学ぶことができる活動を展開します。

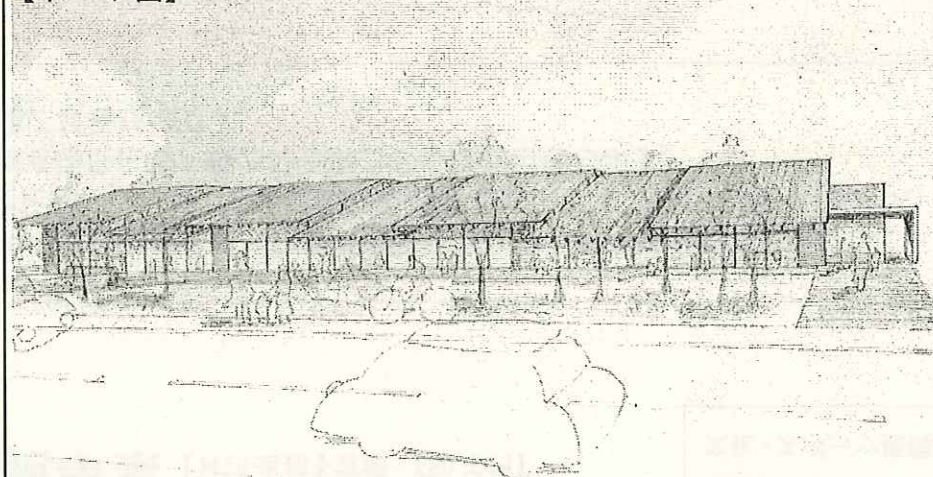
○村の核となる自然・歴史を学ぶ「基本展示」のほか、青少年や来館者、村内各地域との交流にスポットをあてた様々な活動を展開します。

○土器作りや昔遊び体験、科学実験など、子どもたちの様々な体験や学習活動のほか、活動団体の支援や青少年相談など、青少年健全育成の施策を総合的に展開します。

○情報発信や利用者との交流、コミュニティイベントに幅広く取組めます。また、「郷土の歴史」を素材に、敷地全体を活用した体験活動やアウトドア体験などに取組めます。

○東海村全域をフィールドとして、交流館を拠点に各ゾーン共通の取り組みとして様々な歴史体験や自然体験、交流活動を展開します。

### 【イメージ図】



※上記イメージ図は、今後の設計で変更になる場合があります。



# 「とうかいまるごと博物館」実施事業【H29 当初予算額：550 千円】

教育委員会 生涯学習課  
文化・スポーツ振興担当

## 事業の目的・ねらい

「とうかいまるごと博物館」実施事業とは、コンパクトな面積の中に多様な文化財や自然が存在するという東海村の特徴を活かして、村全域を「博物館」と見立てて歴史を体感し、自然に親しみ郷土愛を育むことのできる活動を展開するものです。村内の様々な場所で活動を展開することで、地域の文化財保護意識の向上を図り、地域を活性化し、魅力ある郷土づくりを目指します。

なお、本事業は（仮称）歴史と未来の交流館での活動展開の基盤になるものです。

## 取組みの主な内容・事業のスケジュール

### ■内容

東海村に点在する文化財や自然を使って、座学とフィールドワークを交えながら郷土を体感できるイベントや見学会、講座などを実施します。

実施にあたっては、コミセンや活動団体等と連携・協力し、「地域づくり」や「ひとづくり」も同時に図っていきます。

また、文化財解説板や案内看板等の整備に向けた検討も進めます。

### ■スケジュール

【4月～5月】年間事業計画の策定、協力団体との打合わせ

【6月以降】事業の実施（城跡探検、古墳めぐり、ホテル観察会、スカシユリ観察会、土器作り体験、はにわ製作体験、化石採集体験などを検討）

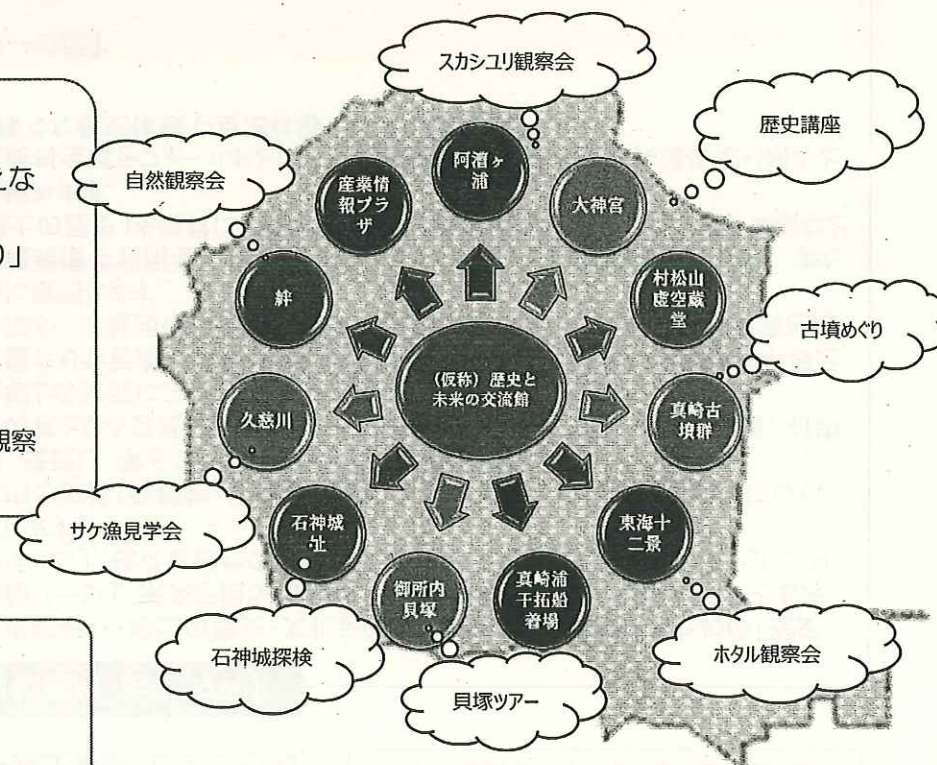
## 平成 29 年度事業費の内訳

### ■講習会等（500千円）

・講座、体験・見学会等の講師・指導者謝礼金

### ■消耗品費（50千円）

・体験等に使用する材料等消耗品



イメージ図



新規

12,515, 工事 6,099 ほか)

文化・スポーツ振興担

## 事業の目的・ねらい

生涯学習課では、2件の県指定文化財、28件の村指定文化財、1件の国登録文化財、30件のふるさとの自然・文化登録文化財を把握管理すると共に、稲村退三絵画・硯・彫刻などの美術資料や、石神城址公園、真崎古墳群、下ノ諏訪古墳群、真崎浦干拓事業舟着場跡、舟塚2号墳（借地）などの史跡を所有し、適切な維持管理、整備・修復等に努めています。

一方で、近年、社会環境や価値観の多様化により文化財を取り巻く環境は大きく変化し、地域に多く存在している文化財が人々の暮らしのなかに埋もれ、その価値が見出されないまま失われてしまうおそれがあります。

このため、文化財の適切な保存とともに散逸している地域の文化財を調査し、保護活用に計画的かつ総合的に取り組む必要があることから、平成 29 年 3 月に文化財保護・活用計画を策定しました。

本事業は、この計画に基づき、史跡等の文化財の管理と「地域に眠る文化財の調査・掘り起こし」を一体的に行い、文化財を適切に維持管理すると共に地域の新たな魅力を発見し、魅力ある郷土づくりを目指すものです。

## 事業のスケジュール（予定）

## 事業の主な内容

## 史跡・文化財の維持管理

東海村で所有・管理している史跡・文化財の適切な維持管理を図ります。

### 《事業費の内訳》

- ・石神城祉公園等維持管理，真崎古墳群入口環境整備
- ・史跡樹木伐採等業務委託，真崎浦舟着場環境整備
- ・野外彫刻管理，絵画修繕

文化財調査

地域に眠る古文書や民具などの所在を調査し、必要に応じて保護します。また調査結果は（仮称）歴史と未来の交流館での基礎資料とします。また、長期的な活動の展開を見据え、交流館運営協力組織の基盤づくりを図ります。

### 《事業費の内訳》

- ・謝金・消耗品

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
史跡・文化財維持管理	石神城址公園維持管理業務			史跡樹木伐採等業務(舟塚2号墳, 真崎古墳群, 石神城跡, 舟着場, 下ノ諏訪古墳群等)								
	真崎古墳群入口環境整備工事			舟着場遊歩道整備工事				絵画・彫刻修繕				
							野外彫刻作品管理					
文化財調査	資料収集方針の審議・決定											
	調査組織の立ち上げ			古文書所在調査						調査結果整理		



## 村花「スカシユリ」増殖事業

【H29 当初予算額:1,350 千円】

内訳:スカシユリ増殖事業委託料 1,350 千円

教育委員会 生涯学習課  
文化・スポーツ振興担当

## ■実施の背景■

村花であるスカシユリは、20数年前までは村松の海岸部で普通に見られましたが、時間の経過とともに個体数が減少し、現在は、日本原子力研究開発機構敷地内の一部のみでしか確認することができます。近い将来、村内から絶滅してしまう恐れが指摘されています。

一方、村ではこれまでいくつかの増殖事業に取り組んだことはあるものの、目に見える成果を挙げるには至っておらず課題となっています。現時点においては、年1回のスカシユリ観察会の開催のほか、譲り受けた球根をプランターで栽培し、村民の方が鑑賞できる機会を設けているに留まっている状況にあります。

## ■目的・ねらい■

スカシユリの生育環境は科学的に解明されていないところもあることから、調査研究のための実行委員会を立ち上げ、スカシユリの生態等の科学的調査等を行い生育環境を解明したうえで、村民も巻き込んだ形で増殖プロジェクトを展開し、身近な場所で普通にスカシユリが見られるような環境づくりを目指します。

## ■スケジュール■

	H29	H30	H31～
事前準備・組織立上げ	→		
調査開始	→		
ボランティア組織立上げ		→	
圃場整備		→	→
スカシユリ増殖開始			→

## ■事業の概要■

## 〔第1 STEP〕

## 【研究組織立上げ】

- 調査研究組織「(仮称)村花スカシユリ増殖プロジェクト実行委員会」を立ち上げ。
- スカシユリの増殖・育成のための最適環境の確立と構築を目指す。
- 調査研究にあたっては、土壌や植生解析など各分野の研究者を招聘し実施。

## 〔第2 STEP〕

## 【生育環境の調査】

- 生育場所の地質・地形的解析、生育場所の土壌解析、含有塩分や有機物の解析、生育場所の植生解析、菌類解析、スカシユリのDNA解析等の実施。
- スカシユリの生育環境を特定し、報告会等で調査成果を発表。
- 併せて、具体的な増殖手法の調査検討。

## 〔第3 STEP〕

## 【増殖への展開】※H30以降～

- 圃場及び移植最適地の調査、圃場の整備。
- 村民ボランティアの募集、園芸講座等の開催、増殖のための実施組織の組織化。
- 最適地へ移植開始(H31年度～)

## 海岸部の事業所内に咲く「村花スカシユリ」

村発足30周年を記念して、昭和60年3月に制定





# 重点 いきいき茨城ゆめ国体ホッケー競技推進事業

教育委員会 生涯学習課  
国体推進室  
(内線 1423)

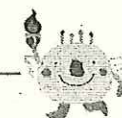
【H29 当初予算額】 13,383 千円

## ■ これまでの経緯 ■

「いきいき茨城ゆめ国体」は、平成31年9月28日から10月8日までの会期で開催されることが、平成28年7月20日に正式決定された。東海村では前回大会（昭和49年）に引き続きホッケー競技が開催される。本村ではこれまで輸送や宿泊、施設整備等の基礎的調査の準備を行ってきたところであるが、平成28年7月1日付けで生涯学習課内に国体推進室が設置され、平成28年9月、12月に発起人会を開催し、平成29年2月には実行委員会設立総会を開催する。

## ■ 目的・ねらい ■

実行委員会の運営のほか、国体の機運醸成や各種実施要項の策定等、国体ホッケー競技会の成功とスポーツを通じたまちづくりに取り組む。



## ■ 事業の概要 ■

### 実行委員会の運営

- 「総会」の開催
  - ・ 年1回。事業計画、予算
- 「常任委員会」の開催
  - ・ 年1～2回。会長、副会長、常任委員で組織。
  - ・ 基本方針案の作成。
- 「専門委員会」の開催
  - ・ 年1～2回。構成員は常任委員、委員から選出

### 事業費の内訳

- 〔いきいき茨城ゆめ国体東海村実行委員会補助金〕
- ホッケー競技推進費（12,337 千円）
    - 【需用費】啓発物品作成、ポスター・チラシ印刷
    - 【委託費】看板設置、実施計画書作成
    - 【備品購入費】ホッケーゴール、防球ネット等
  - 事務局費（1,046 千円）

### 庁内連絡会議の運営

本村が開催するホッケー競技会の準備その他大会開催に関する事務、笠松運動公園で行われる競技会等への協力について全庁的に連携を図り、計画的かつ円滑な推進を図るため庁内連絡会議を設置する。

本会議はH29年度中を目途に、庁内推進本部への格上げを目指す。

## 全体スケジュール < 取り組みの主な内容 >

H28（国体準備スタート）	H29（開催準備本格化） 【概算事業費：13,383 千円】	H30（国体同様の大会開催） 【概算事業費：約 19,000 千円】	H31（国体本番） 【概算事業費：約 37,000 千円】
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 発起人会の開催</li> <li>・ 実行委員会設立総会の開催</li> <li>・ 庁内推進会議の設置</li> <li>・ 広報活動及び物品調達</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各種方針、業務計画、実施要項作成</li> <li>・ 係員業務必携の作成</li> <li>・ 広報活動（啓発物品、競技PR等）</li> <li>・ 花いっぱい運動開始</li> <li>・ 協力ボランティア組織化</li> <li>・ 競技団体の視察対応</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ リハーサル大会（全日本社会人選手権大会）の開催</li> <li>・ 村職員の体制構築</li> <li>・ 本大会に向けた修正作業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本大会開催</li> <li>※全国障害者スポーツ大会や笠松運動公園開催競技への対応</li> </ul>

いきいき茨城ゆめ国体 2019

翔べ 羽ばたけ そして未来へ

